

令和7年度

工 事 設 計 書

工 事 名 県道大山口停車場大山線改良(平木、神原工区)に伴う水道管整備工事
工事場所 西伯郡大山町神原

庆阳市南义乡, 海拔 2000~2500 m, 距 (G211) 554~7551 (4) 处 (经白河村)。

現場説明書

1

令和7年5月15日以降調達公告適用

工 程	①（他工事等との調整） _____については、_____と関連するので相互の連絡調整を密にすること。 ②（部分完成、着工保留） _____については、_____まで_____〔すること、しないこと〕。 ③（施工時間） 本工事の施工時間帯は、昼間施工（8：00～17：00）を見込んでいる。 _____の施工時間は、_____～_____とする。 ④（余裕期間設定工事） 本工事は、鳥取県余裕期間設定工事に係る実施要領（平成28年6月9日付第201600036328号県土整備部長通知）の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 工期については、調達公告のとおりとする。 ⑤（鋼材の調達の遅れによる工期の延長） この工事の工期には、鋼材調達期間として、_____ヶ月を見込んでいるが、受注者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。 ⑥（週休2日工事） 本工事は、鳥取県県土整備部週休2日工事実施要領（平成30年3月12日付第201700297117号県土整備部長通知）の対象工事である。https://www.pref.tottori.lg.jp/277262.htm に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い週休2日工事を実施すること。																																
用地 関係	①（用地、物件等未処理） 本工事区間の_____には_____があるので、監督員と打合せのうえ施工を行うこと。 なお、_____頃_____の予定である。																																
支 障 物 件	①（埋設物等の事前調査） 工事に係る地下埋設物等の事前調査については、〔未調査・（水道・下水道・電気・通信・ガス・その他_____）について調査済み〕である。 事前調査済みのうち本工事区域内で埋設が確認されている地下埋設物等は、（水道・下水道・電気・通信・ガス・その他_____）であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。 その他埋設が想定される未調査の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設物等が確認された場合は、監督員に報告すること。 ②（支障物件） _____の施工に当って、_____が支障となっているが、_____までに移設が完了する見込である。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。 ③（立木の置き場所） 工事用地内の立木は伐採し、_____に置くこと。																																
公 害 対 策	①（低騒音型・低振動型建設機械） 本工事のうち施工箇所：_____については、特に生活環境を保全する必要があるため、下記工種の施工に当たっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定（国土交通省告示、平成13年4月9日改正）に基づき指定された建設機械を使用するものとする。 該当工種：_____、施工機械：_____																																
安 全 対 策	④（交通安全施設等） 一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。なお、交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 <table border="0"> <tr> <td>交通誘導員A</td><td>_____人</td> <td>交替要員</td><td>_____人</td> <td>1日あたり合計</td><td>_____人</td> <td>配置日数</td><td>_____日</td> </tr> <tr> <td colspan="2">工事全体合計</td><td colspan="2">_____人・日</td><td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>交通誘導員B</td><td>6人</td> <td>交替要員</td><td>_____人</td> <td>1日あたり合計</td><td>_____人</td> <td>配置日数</td><td>_____日</td> </tr> <tr> <td colspan="2">工事全体合計</td><td colspan="2">_____人・日</td><td colspan="4"></td> </tr> </table> 警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。 交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4項に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。 また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置していることとみなす。	交通誘導員A	_____人	交替要員	_____人	1日あたり合計	_____人	配置日数	_____日	工事全体合計		_____人・日						交通誘導員B	6人	交替要員	_____人	1日あたり合計	_____人	配置日数	_____日	工事全体合計		_____人・日					
交通誘導員A	_____人	交替要員	_____人	1日あたり合計	_____人	配置日数	_____日																										
工事全体合計		_____人・日																															
交通誘導員B	6人	交替要員	_____人	1日あたり合計	_____人	配置日数	_____日																										
工事全体合計		_____人・日																															

①（濁水処理）

工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。なお、これにより難しい場合は別途協議すること。

また、舗装の切断作業時に発生する排水の処理についても、舗装の切断作業時に発生する排水の処理について（平成24年3月27日付第201100201443号水・大気環境課長通知）

（<https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1141896/120327hosousetudan.pdf>）に基づいて適正に処理すること。

【建設発生土（処理）】

①（他工事等流用）

建設発生土は、市・町・村 地内の 工事現場に運搬（片道運搬距離 km）するものとする。

②（建設技術センター）

建設発生土は、市・町・村 地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離 km）するものとする。なお、処理費として1 m^3 当り 円をセンターに支払うこと。

センター事業所へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数300 kN/m^2 以上）

③（民間残土受入地）

建設発生土は、大山 市 町・村 所子 地内の 指定処分場 に運搬（片道運搬距離 2km）するものとする。

民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各受入地が指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数300 kN/m^2 以上）

④（土質改良プラント）

建設発生土は、市・町・村 地内の に運搬（片道運搬距離 km）するものとする。なお、処理費として1 m^3 当り 円を に支払うこと。

土質改良プラントへ搬出する土砂の土質は、各プラントが指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数300 kN/m^2 以上）

【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】

①（分別解体等）

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。

コンクリート塊 1 m^3 当り 円

アスファルト塊 1 m^3 当り 円

建設発生木材 1 m^3 当り 円

②（他工事等流用）

〔Co雑割材・ 〕は、市・町・村 地内 工事で使用するものとする。

③（バイオマス発電燃料加工施設への搬出）

建設発生木材は、市・町・村 地内の のバイオマス発電燃料加工施設への搬出（片道運搬距離 km）を想定し、1 t 当り 円を見込んでいる。搬出先を変更する場合には、理由を付して協議を行うこと。

なお、公共工事で伐採する支障木は、一般本質バイオマスとして区分される。一般本質バイオマスであることは、立木の所有者（鳥取県）自らにより由来を証明することを基本とするが、伐採・運搬を行う者が由来を証明する場合は、鳥取県森林組合連合会が登録・審査した認定団体でなければならない。当該工事は、〔所有者（鳥取県）・伐採・運搬を行う者〕により由来の証明を行うこととしているため、着手にあたっては事前に監督員に確認すること。

④（木材市場等へ売却）

建設発生木材は、市・町・村 地内の への搬出（片道運搬距離 km）を想定し 円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合の理由を付して協議すること。

(施設の名称・
受入れ費用)

なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。

(受入れ条件)

工 種	項 目	規 格	摘 要
建設発生木材 運搬量	現場において運搬車の計測を行うこと。 平均的な1断面を計測。計測に当たっては、頂部に最低2箇所の折れ点を設けること。 断面積に荷台の延長を乗じて体積を算定する。	運搬車全数の測定を行うこと。また、10台に1台の割合で写真管理を行うこと。ただし、搬出台数が10台に満たない場合は、2台以上写真管理を行うこと。 なお、マニフェストで運搬量（体積（m^3））が確認出来る場合は、計測、写真管理は不要とする。	
建設発生木材 搬出量	マニフェスト又は伝票管理を行うこと。	運搬車全数の管理を行うこと。	伝票は処分業者が発行したものでなければならない。

産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託するときは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づきマニフェストを作成すること。ただし、一般廃棄物や有価物は不要である。

建設副産物の使用	①（建設発生土の使用） _____ 工事から〔本工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所：_____に使用する。 ②（再生資材の使用） ア Co雑割材は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____に使用する。 イ アスファルト・コンクリート切削殻等は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____に使用する。 ウ 再生クラッシュラン〔規格：Re=_____〕は、使用箇所：_____に使用する。 エ 再生コンクリート砂〔規格：RS=_____〕は、使用箇所：_____に使用する。 オ 再生加熱アスファルト混合物〔規格：_____〕は、使用箇所：_____に使用する。 カ その他再生資材〔資材名：_____〕〔規格：_____〕は、使用箇所：_____に使用する。 キ 本工事において、再生クラッシュランの使用は上記ウに記載のものを想定している。当該碎石について、受注者が再生資源化施設側と供給状況等について協議し、再資源化施設側から書面により供給の確保ができない旨の回答があった場合には、他の再生碎石を使用することとし、設計変更の対象とする。その上で他の再生碎石の確保も難しいと判断された場合には、新材を使用することとし、設計変更の対象とする。 ク 本工事において、粒度調整碎石の使用は新材を想定している。ただし、受注者が再生材の使用を希望する場合には、受注者において供給状況を確認し、再生材の使用について協議することとし、設計変更の対象とする。
工事用道路	①（農地の一時転用について） 本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に所轄農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得ること。 【令和5年4月1日時点で、前工事等の請負業者が一時転用している農地を継続して利用する場合は、以下も記載する。（該当がなければ記載を削除）】 受注者は、前工事等の請負業者が農地一時転用している農地を継続して利用する場合、速やかに変更報告書を作成の上、所轄農業委員会へ提出し、工事完了後はその旨を連絡すること。 ②（農地の賃貸借） ア _____の用途に使用するため、_____市・町・村 _____番地を賃貸借すること。 イ 土地賃貸借契約書に「鳥取県との建設工事請負契約に基づき、土地の貸借権は鳥取県が有することとし、原状復旧の責は鳥取県が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。 ウ 賃貸人に賃貸借料を支払うこと。 エ 工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。 オ イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。
その他	①（自社施工） 本工事においては、（※）_____ 工（_____ 工を除く）のうち少なくとも_____千円までの部分は、鳥取県県土整備部自社施工対象工事適正実施要領に定めるところにより自社施工しなければならない。 ※該当する細別（レベル4）を記載する。 ②（工事名称） 工事標示板に記載する名称は、_____ 県道大山口停車場大山線改良（平木、神原工区）に伴う水道管整備工事 とする。 なお、工事標示板には、原則として県産本材を使用すること。また、その他の保安施設等についても積極的に県産本材を使用すること。

③ (景観評価)

ア 本工事は、鳥取県公共事業景観形成指針に基づく、景観評価対象事業〔である・ではない〕。

イ 景観評価対象事業の場合、施工にあたっては設計図書によるほか、必要に応じて監督員と協議すること。

④ (工事成績評定)

本工事は、工事成績評定要領（以下「評定要領」という。）に基づく工事成績評定の対象と〔する・しない〕。工事成績評定の対象外とするのは以下の〔ア・イ・ウ・エ・オ〕に該当するため。

ア 請負対象設計金額（請負契約の対象となる部分の設計金額をいい、請負契約締結後に請負対象設計金額を変更した場合にあっては、当初請負対象設計金額とする。以下同じ。）が、500万円未満の一般土木工事及び250万円未満の建築・設備工事

イ 鳥取県の管理する道路（道路法（昭和27年法律第180号）第2条第1項に規定する道路に限る。）・河川・湖沼・港湾を維持し、修繕し、又は管理（公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法（昭和26年法律第97号）第2条第2項に規定する災害復旧事業として行われるものを除く。）することを目的として発注された工事（年間維持、港湾浚渫、河川掘削、伐開、塵芥処理工事）

ウ 災害等の初期活動で緊急かつ迅速な対応が不可欠である緊急応急工事

エ 機器の納品、部品取替等の建設工事（融雪施設点検補修、道路照明灯点検補修、標識灯設置工事等）

オ 工事目的物を伴わない建設工事（旧橋撤去、残土撤去・運搬工事等）

⑤ (監督体制)

本工事は監督体制は〔一般・重点〕監督とする。

重点監督の工種は_____とし、その他の工種は一般監督とする。

なお、鳥取県建設工事低入札価格調査制度対象工事となった場合は、別途通知する。

⑥ (三者協議)

本工事は、_____(対象工事の区分を記載)_____]工事であり、工事着工までに、施工条件及び施工の留意点等を確認するため、発注者並びに当該工事の測量等業務受注者及び施工受注者の三者で協議するものとする。（重点監督工事等に適用）

⑦ (技能士常駐)

本工事には、下記のとおり鳥取県土木工事共通仕様書特記事項に基づく技能士常駐対象工種が含まれており、該当工種の作業期間は、技能士が工事現場に常駐しなければならない。

ア 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁

イ 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁

ウ 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁

⑧ (電子納品)

情報共有システムを利用する工事は、原則として工事完成図書を電子納品すること。ただし、止むを得ない事情がある場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。

情報共有システムを利用しない工事であっても、受注者が電子納品を希望する場合は、監督員と協議の上、電子納品対象工事とする。

電子納品に当たっては、<https://www.pref.tottori.lg.jp/171188.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県電子納品・情報共有運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に従い適正に納品すること。

オンライン電子納品を実施する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/318010.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新のオンライン電子納品試行要領（令和6年6月12日付第202400071599号技術企画課長通知）に従うこと。

⑨ (情報共有システム)

情報共有システム（以下「システム」という。）を利用すること。

ただし、情報共有システムの利用を希望しない場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。

システム利用に当たっては、ガイドラインに従い適正に実施すること。

⑩ (寒中コンクリート)

本工事は、寒中コンクリートとして施工を行わなければならない期間があるので、適正に実施すること。なお、寒中コンクリートの養生費用については、「寒中コンクリートの養生費用について」（平成23年12月7日付第201100123529号県土整備部長通知）に基づいて処理することとし、設計変更の対象とする。

の
他

⑪（建設機械の賃料の採用単価）

ア 建設機械の賃料について、ラフテレーンクレーン以外の建設機械は長期割引単価を標準としている。

通常単価を採用した建設機械〔無し・有り（ ）〕

イ ラフテレーンクレーン及び高所作業車について、1ヶ月以上の長期利用に当たるものは長期割引単価を採用し、1ヶ月未満の利用に当たるものは通常単価を採用している。

―― 本工事の 工で使用を想定しているラフテレーンクレーン（規格 t吊）の採用単価は（長期割引単価・通常単価）（建設物価 月号、 頁）を採用し、本工事の 工で使用を想定している高所作業車（規格 ）の採用単価は（長期割引単価・通常単価）（建設物価 月号、 頁）を採用している。

⑫（現場環境改善）

本工事は、現場環境改善（率計上分）実施対象工事と〔する・しない〕。

下表の内容のうち原則として各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1実施内容ずつ（いずれか1項目のみ2実施内容）の合計5つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。

実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。

地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容（目的に資するものであること）について監督員の確認を受けること。

1 内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。

また、主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用については、率分の計上ではなく、契約変更時に対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行う。施設・設備の種類や規模及び設置期間については、監督員と協議の上、決定する。

計上費目	実施内容
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設、4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス（交通誘警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等） 3. 避暑（熱中症予防）・防寒対策
地域連携	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献
防災・危機管理関係 （港湾・漁港事業）	1. 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）

⑬（熱中症対策）

熱中症対策について <https://www.pref.tottori.lg.jp/291941.htm> に掲載の熱中症予防対策資料を参考に熱中症予防対策を実施すること。

また、気象庁から高温注意報（最高気温35℃以上が予想される場合）が発表された日においては、作業の中断、作業時間の短縮を行うか、十分な水分、塩分の摂取のほか休憩場所の整備及び十分な休憩時間を確保するなどの熱中症予防対策を確実に実施したうえで作業を行うこと。

その他

⑭ (現場管理費補正)―

本工事は、熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領(令和元年6月12日付第201900066875号県土整備部長通知)の対象工事である。―

熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/285759.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。計測結果は施工計画書に基づき、計測結果の資料を王期末の14日前までに提出すること。―

⑮ (日本芝生産地への配慮)―

日本芝の生産に配慮した植生工について(令和2年2月27日付第201900299342号県土整備部長通知)(<https://www.pref.tottori.lg.jp/290178.htm>)に基づき、日本芝を生産するほ場と、その前後も含めたほ場に隣接する法面においては、植生工にバミューダグラスの使用を禁止する。―

ア [張芝工・筋芝工]は、日本芝の[野芝・高麗芝]を使用すること。―

イ [植生基材吹付工・客土吹付工・種子散布工・枠内吹付工]に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。配合種子は監督員と協議のうえ決定すること。―

ウ [わら芝工・植生シート工・植生マット工]に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。バミューダグラスの代替えの種子として〇〇を使用し、材料費として1m2当たり 〇〇 円を見込んでいる。―

⑯ (ICT活用工事[受注者希望型(LightICTを含む)])―

本工事は、受注者希望型(LightICTを含む)の対象工事であるので、最新の「ICT活用工事特記仕様書(受注者希望型)」によること。―

仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/269460.htm>を参照すること。―

⑰ (土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事)―

本工事は、労働安全衛生規則第2編第12章「土石流による危険の防止」に定める、土石流が発生する恐れのある現場において行う工事である。―

安全対策について、<https://www.pref.tottori.lg.jp/295476.htm>に掲載の「土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事における安全対策について」に基づいて実施すること。―

⑱ (標示板の設置)―

本工事は「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく工事であり、標示板の工事種類について「国土強靱化対策工事(5か年加速化対策)」と標記すること。―

標示板の記載及び記載内容については、道路・河川工事現場における標示施設の設置の徹底について(令和3年6月1日付け 国土交通省大臣官房技術調査課建設システム管理企画室長 事務連絡)を参考にすること。―

⑲ (CCUS活用推奨工事[受注者希望型])―【災害復旧工事、受託工事は対象外(当該項目を削除する)】―

本工事は、受注者希望型の対象工事である。CCUSの活用を希望する場合は、最新の「鳥取県建設キャリアアップシステム活用推奨工事(受注者希望型)特記仕様書」によること。―

仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/291820.htm>を参照すること。―

⑳ (遠隔臨場)―

本工事は、遠隔臨場の対象工事である。遠隔臨場の活用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/307254.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県建設工事・測量等業務の遠隔臨場に関する実施要領」によること。―

㉑ (施工管理システム)―

本工事は、施工管理システムの利用可能工事(試行)である。施工管理システムの利用を希望する場合は、事前に監督員と協議を行うこと。なお、利用に関するアンケート調査に協力すること。対象とする施工管理システムは以下のホームページに掲載されたものである。―

<https://www.pref.tottori.lg.jp/310672.htm>

その他

第 1 総 括

本工事の仕様指示に当り、その優先順位を次の通りとする。

1. 特記仕様書
2. 水道工事標準仕様書（平成 22 年 日本水道協会発行による。）
3. 共通仕様書（令和 6 年 4 月 1 日 鳥取県土木共通仕様書による。）
4. 工事図面（別添の通り）
5. 工事明細書（別添の通り）
6. その他指示事項

第 2 特 記 仕 様 書

1. 工 事 名 県道大山口停車場大山線改良（平木、神原工区）に伴う水道管整備工事
2. 工事場所 西伯郡 大山町 神原
3. 工 期 令和 年 月 日～令和 年 月 日
4. 工事概要 本工事の概要は、次の通りである。

工 種	構 造	形 状 寸 法	数 量
φ100mm配水管布設	WEETA, HPPE	φ100mm	51.8m

5. 各種仕様

（1）管材の規格

水道配水用ポリエチレン管	JWWA K 144
同上異形管	JWWA K 145

（2）骨 材

埋戻用……………真砂土
路盤用……………M-30

6. その他

（1）転圧工

埋戻用……………タンバ 20cm×5回転圧
路盤用……………タンバ 10cm×10回転圧

（2）アスファルト混合物

密粒度アスコン（20mm TOP）		A s 量	4.5～5.0%
粗粒度アスコン（20mm TOP）		A s 量	4.5～5.0%

※アスファルト混合物は、再生材を用いる事。

（3）成果品

提出すべき成果品は、別添『工事施工管理基準仕様書』によるものとし、提出部数は1部とする。

（4）水圧テスト

水圧テストの対象区間はφ50mm以上の管路の本設区間とする。水圧テストは発注者側監督員の立会いのもとで行

なう。水圧テストは以下の要領で番号順に行なう。

- ①空気弁を開放し、排気状態を確認しながら徐々に充水する。
- ②充水後も空気弁を開放状態にして空気が完全に抜けるのを待つ。
- ③空気が完全に抜けたことを確認して試験水圧により初期加圧を行なう。
- ④加圧後24時間放置する。
- ⑤24時間後、試験水圧まで再加圧し、その後さらに24時間放置する。
- ⑥24時間後、圧力値を計測する。

水圧テストの試験水圧及び合否基準は以下のとおりとする。

試験水圧 ($\text{kg} \cdot \text{f}/\text{cm}^2$) …… 水圧テスト対象区間の最大静水圧 + $5.5 \text{ kg} \cdot \text{f}/\text{cm}^2$ (引込管、排水用管は $2.5 \text{ kg} \cdot \text{f}/\text{cm}^2$)
合否基準。

$P_h \geq 0.7P$ …… 合格

P : 試験水圧

P_h : 上記⑥による実測圧力値

水圧テストの結果が不合格の場合は、原因究明のうえ適正な処置を行ない再試験する。それでも不合格の場合は発注者と協議し、発注者の指示により必要な処理を行なう。

(5) コンクリートは、原則として生コンを使用する。

セメントは、高炉セメントB種を使用するものとし、混和剤及びA E剤については、監督員が必要に応じてその種類、量及び空気量について指示する。設計基準強度、その他については下表による。

呼び強度 (N/mm^2)	スランプ (cm)	粗骨材最大寸法 (mm)	使用箇所
18	8	40	床均しコンクリート
18	8	40	無筋構造物・小構造物
21	8	20～25	鉄筋構造物
24	8	20	鉄筋構造物

生コン使用に当たっては、次の各表を提出するものとする。

(ただし、JIS A5308によるものは、下記(ロ)、(ハ)、(二)を除く。)

- (イ) レディミクストコンクリート使用承認願
- (ロ) レディミクストコンクリート配合報告書
- (ハ) 骨材試験成績表
- (二) セメント試験成績表

(6) 用地及び付帯工事

工事に必要な材料置場、仮設道水路等一切の敷地、及びこれに伴う費用、付帯する工事等は、すべて請負者において処置しなければならない。

(7) 工所用機械

- ① 施工中の重機械の搬出は、監督員と協議のうえ行うこと。
- ② 工事の遂行上監督員が必要と認め指示した重機械は、直ちに搬入しなければならない。

(8) 工事施工

- ① 施工管理

別添『工事施工管理基準仕様書』による。

(9) 道 路

資材機械等の運搬に際し既存道路、及び構造物等を破損した場合は、請負者の負担において速やかに補修し、通行に支障がないようにしなければならない。

なお、交通管制等の必要のある場合は、あらかじめ監督員の承認を受け、且つ所要の手続きは、監督員を経由して関係機関に行うものとする。

(10) その他補償工事等

①地区内にあるN T T柱、中電柱等及び諸施設の移転について工事の工程で本工事に不都合を生ずる場合は事前に監督員に連絡し、みだりに関係諸機関の了解を受けずに移動若しくは取り除いてはならない。

②工事中諸施設を破損した場合は、完成者及び関係各機関に遅滞なく届け出るとともに、その指示により請負者において処理し、監督員に速やかに報告すること。

③工事施工に伴い、地区内の農業用小施設及び物件（ハデ木小屋・サイロ・立木等）の取り扱い移動については監督員の指示により施工しなければならない。

④工事中に重機械等の移動等により工事完成部を破損した場合等は、速やかに監督員に届け、直ちに修復しなければならない。この場合、監督員の確認が必要である。

⑤工事施工について、その期間中所定の様式に従い、日報を提出しなければならない。

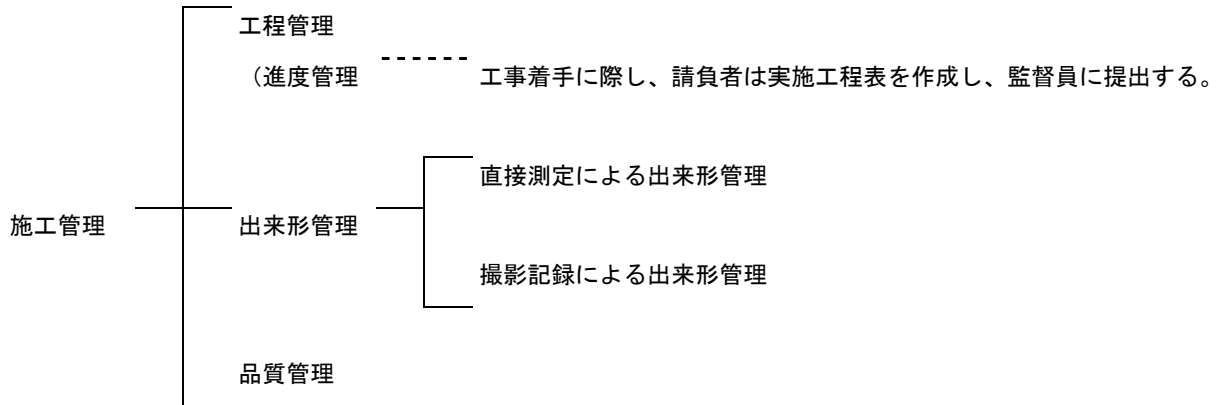
⑥工事打合せ事項は、所定の様式により打合せしなければならない。

打合せ簿に記載されない事項については変更の対象としない。

工事施工管理基準仕様書

1. この施工管理基準は、土木工事の施工の近代化に即応して工事の出来形及び品質の向上を図るため、請負者が実施する施工管理の基準を示すものである。

2. 施工管理の基本構成は、次のとおりである。



(1) 工程管理とは、指定期日、手持資材を考慮し、工事施工達成に必要な作業の手順及び日程を定め、工程計画表を作成し、工事実施途中で計画と実績を比較検討し、必要な処理を取ることをいう。

(2) 直接測定による出来形管理とは、工事の出来形を把握するため工作物の寸法、凸凹、勾配基準高等を施工の順序に従って直接測定し、逐次その結果一覧表に記録し、常到的確な管理を行うことをいう。

(3) 撮影記録による出来形管理とは、出来形測定、品質管理を実施した場合、又は施工段階及び施工の進行過程を確認するため必要に応じ撮影記録を行うことをいう。

(4) 品質管理とは、資材等の品質を把握するため物理的、化学的試験を実施し、その都度その結果を管理図表、又は結果一覧表に記録し、常により的確な管理を行うことをいう。

3. 施工管理の実施に当たって、請負者は、当該工事に施工管理責任者を定め、監督者に通知するものとする。施工管理を掌握し、この基準に従い善良な管理を実施しなければならない。

(1) 出来形管理、品質の実施は、次項4によるものとする。なお、本仕様書に明示されていない事項については、監督者の指示によるものとする。

(2) 施工管理は工事の進行に伴い、速やかに実施し、その結果を監督員に報告し、確認を受けるものとする。監督員は請負者の管理記録を重視（書類チェック）し、必要に応じランダムに現場で検討を行うものとする。

(3) 出来形測定及び試験等の測定値がはなはだしく偏向する場合、ばらつきが大きい場合は、その原因を是正し常に所要の品質規格が得られるよう努めなくてはならない。

(4) 竣工検査、記載部分検査に際しては、管理図表、又は結果一覧表等を整備し、提出するものとする。

4. 施工管理基準及び管理方式

(1) 直接測定による出来形管理

イ) 不可視部分の測定に当たっては、測定時期を逸しないよう特に注意しなければならない。

ロ) 出来形測定に当たっては、測定誤差等を極力少なくするように努め、測定機器を常に点検整備しておかなければならない。

ハ) 出来形測定管理は、出来形管理基準により行うものとする。

(2) 撮影記録による出来形管理

イ) 工事写真は、工事そのものが設計図書どおり施工されたかどうかの点を確認、又は判定するための重要な証拠資料となるものであるから、誰が見ても形状寸法等が明確に把握でき、場所、時期等の確認判定ができるよう撮影しなければならない。

ロ) 写真撮影は、撮影管理基準によるものとする。

(3) 品質管理

イ) コンクリート関係

① 品質管理の結果は、その都度施工管理記録に整理し、監督員に提出しその承認を受けるものとする。

② 品質管理の結果は、直ちに施工管理に反映させて常に所要の品質規格が得られるように努めなければならない。

③ 品質管理を必要とする項目及び(測定)基準は、品質基準により行うものとする。

ロ) 二次製品関係

① J I S規格製品は、コンクリートの配合表筋等の規格証明書製品の強度試験実施時の写真を添付した報告書を管理基準の内容のものと照合、確認するものとする。

② 形状、外観は現場搬入時において確認しなければならない。

③ J I S規格同等品、及びJ I S規格外製品についてもJ I S規格製品に準じ試験を行い、試験結果を提出し、品質の確認を受けなければならない。

④ 製品には、原則として製造工場、又はその略写呼名及び製造年月日を明示したものとする。

工事費明細書

県道大山口停車場大山線改良（平木、神原工区）に伴う水道管整備工事

区分	種目別	施設別	工 種 別	単位					備 考	
					数 量	金 額	数 量	金 額		
工事費	本工事費		φ 100mm配水管布設	m	51.8				第1号明細書	
					</					

第 1 号明細書

φ100mm 配水管布設 設計書

- ## 1、設計図面との対象番号

(1)一般平面図一

(2)工種別構造図一

- ## 2、工事計画概要

本工事は、配水管として水道配水用ポリエチレン管HPPEφ100mm L=29.0m、アラミドがい装高密度ポリエチレン管WEETAφ100mmをL=22.8m布設するものである。

第 1 号明細書

[illegible]

[illegible]

一 位 代 価 一 覧 表

[illegible]

名 称	単位	単 価	20mm		25mm		30mm		40mm		50mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配 管 工	人		0.07		0.07		0.08		0.08		0.10		
普 通 作 業 員	〃		0.12		0.12		0.14		0.14		0.18		
計													
1m当り													

名 称	単位	単 価	75mm		100mm		150mm		200mm				摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配 管 工	人		0.10		0.12		0.18		0.25				
普 通 作 業 員	〃		0.18		0.20		0.26		0.49				
計													
1m当り													

令和6年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P. 86

名 称	単位	単 価	20mm		25mm		30mm		40mm		50mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配管工	人		0.04		0.04		0.06		0.06		0.08		
普通作業員	〃		0.04		0.04		0.06		0.06		0.08		
諸雑費 (機械器具損料・消耗品)	式		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		労務費の14.0%
計													

名 称	単位	単 価	75mm		100mm		150mm		200mm				摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配管工	人		0.08		0.12		0.14		0.14				
普通作業員	〃		0.08		0.12		0.14		0.14				
諸雑費 (機械器具損料・消耗品)	式		1.0		1.0		1.0		1.0				労務費の14.0%
計													

令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表P. 86

名 称	単位	単 価	20mm		25mm		30mm		40mm		50mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配管工	人		0.04		0.04		0.06		0.06		0.08		
普通作業員	〃		0.04		0.04		0.06		0.06		0.08		
諸雑費 (機械器具損料・消耗品)	式		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		労務費の14.0%
計													
1口当り													

名 称	単位	単 価	75mm		100mm		150mm		200mm				摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配管工	人		0.08		0.12		0.14		0.14				
普通作業員	〃		0.08		0.12		0.14		0.14				
諸雑費 (機械器具損料・消耗品)	式		1.0		1.0		1.0		1.0				労務費の14.0%
計													
1口当り													

令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表P.86

名 称	単位	単 価	13mm		20mm		25mm		30mm		40mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配管工	人		0.01		0.01		0.01		0.01		0.01		
普通作業員	〃		0.01		0.01		0.01		0.01		0.01		
諸雑費	式		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		労務費の1%
計													

名 称	単位	単 価	50mm		75mm		100mm		150mm		200mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配管工	人		0.01		0.01		0.02		0.02		0.02		
普通作業員	〃		0.01		0.01		0.02		0.02		0.02		
諸雑費	式		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		労務費の1% φ75以上は7%
計													

令和6年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P.97

名 称	単位	単 価	50mm		75mm		100mm		150mm		200mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配 管 工	人		0.04		0.04		0.04		0.05		0.06		
普通作業員	〃		0.04		0.04		0.04		0.05		0.06		
特殊押輪割増	式		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		× %
諸 雑 費	式		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		労務費の %
計													

名 称	単位	単 価											摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配 管 工	人												
普通作業員	〃												
特殊押輪割増	式												× %
諸 雑 費	式												労務費の %
計													

令和7年度水道施設整備費国庫補助事業に係る歩掛表P. 86

名 称	形 状 寸 法	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
普 通 作 業 員		0.40	人			
計						
1 m当り						

令和6年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P. 66

名 称	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
普 通 作 業 員		0.10	人			
ロケーティングワイヤー	φ3.4mm	110.0	m			
計						
1m当り						

令和6年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P. 66

名 称	単 位	単 価	50mm		75mm		100mm		150mm		200mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
普 通 作 業 員	人		0.09		0.10		0.10		0.11		0.12		
計													
1m当り													

名 称	単 位	単 価											摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	

令和6年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P. 87

第 D-2 号代価表

舗装版直接掘削積込工 (パックホ) (完全週休2日)
舗装厚0cm超え10cm以下 パックホ 山積0.28m3[平積0.2m3]

施工代価表

100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役(完全週休2日)	0.42	人			
普通作業員(完全週休2日)	0.63	人			
パックホ運転(完全週休2日) 山積0.28m3[平積0.2m3]	3.35	h			
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m2			
【 単位当り 】	1	m2			

第 D-3 号代価表

パックホ掘削積込工(完全週休2日)
パックホ 山積0.28m3[平積0.2m3]

施工代価表

100 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役(完全週休2日)	1.9	人			
普通作業員(完全週休2日)	5	人			
パックホ運転(完全週休2日) 山積0.28m3[平積0.2m3]	11.1	h			
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m3			
【 単位当り 】	1	m3			

第 D-4 号代価表

管路埋戻・締固め工(機械埋戻・バックホ) (完全週休2日)
バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3] 山土 CBR≧12
：0.26

施工代価表

100 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役(完全週休2日)	2.5	人			埋め戻し
普通作業員(完全週休2日)	3.8	人			埋め戻し
普通作業員(完全週休2日)	3	人			ｸﾝﾊﾟ 締固め
バックホ運転(完全週休2日) 山積0.28m3[平積0.2m3]	7.6	h			投入
ｸﾝﾊﾟ 運転(完全週休2日)	3	日			ｸﾝﾊﾟ 締固め
山土 CBR≧12	126	m3			ﾎﾟｽ率0.26
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m3			
【 単位当り 】	1	m3			

第 D-5 号代価表

管路埋戻・締固め工(機械埋戻・バックホ) (完全週休2日)
バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3] 発生土

施工代価表

100 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役(完全週休2日)	2.5	人			埋め戻し
普通作業員(完全週休2日)	3.8	人			埋め戻し
普通作業員(完全週休2日)	3	人			ｸﾝﾊﾟ 締固め
バックホ運転(完全週休2日) 山積0.28m3[平積0.2m3]	7.6	h			投入
ｸﾝﾊﾟ 運転(完全週休2日)	3	日			ｸﾝﾊﾟ 締固め
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m3			
【 単位当り 】	1	m3			

発生土運搬工(完全週休2日)

ダンプトラック4t積 バックホウ山積0.28m3[平積0.20m3] DID区間
なし 2.0km以下 天候良好

D-6

頁0005

10 m3 当り

[illegible]

アスファルト塊・コンクリート塊(無筋)運搬工(完全週休2日)

ダンプトラック4t積 バックホウ山積0.28m3[平積0.20m3] DID区間
なし 10.0km以下 タイヤ良好

D-7

頁0006

10 m³ 当り

[illegible]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員(完全週休2日)	0.78	人			0.78*1
再生クラッシャーラン RCC-40	25.4	m3			100*(20/100)*(1+0.27)
ﾀﾝﾊﾞ 運転(完全週休2日)	0.45	日			0.45*1
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m2			
【 単位当り 】	1	m2			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員(完全週休2日)	0.78	人			0.78*1
再生クラッシャーラン RCC-30	12.7	m3			100*(10/100)*(1+0.27)
ﾀﾝﾊﾞ 運転(完全週休2日)	0.45	日			0.45*1
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m2			
【 単位当り 】	1	m2			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員(完全週休2日)	0.78	人			0.78*1
粒度調整碎石 M-30	15.24	m3			100*(12/100)*(1+0.27)
タンバ 運転(完全週休2日)	0.45	日			0.45*1
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m2			
【 単位当り 】	1	m2			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役(完全週休2日)	0.4	人			1*100/250
特殊作業員(完全週休2日)	0.8	人			2*100/250
普通作業員(完全週休2日)	1.6	人			4*100/250
アスファルト合材 再生粗粒度アスコン(20)	7.544	t			100*(3/100)*2.35*(1+0.07)
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	126	L			
振動ロー運転(完全週休2日)	0.4	日			1*100/250
振動コンバクタ運転(完全週休2日)	0.8	日			2*100/250
砂散布費	1	式			(労+機)の3%
諸雑費	1	式			(労+機)の17%を上限とする

第 D-11 号代価表

舗装工(人力施工)(完全週休2日)
車道及び路肩 仕上り厚3cm プライムコート 砂散布あり アスファルト
ト合材(再生粗粒度アスコン(20))

施工代価表

100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【 合 計 】	100	m2			
【 単位当り 】	1	m2			

第 D-1 号代価表

舗装版切断(完全週休2日)
アスファルト舗装版, 15cm以下, ㄱ, ー

施工パッケージ

積算単位 : m

区分	代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	補正式	備 考
K	機械	15.05			
東京					
K1	コンクリートカッター[ベキウム式(超低騒音型)・湿式] 切削深20cm級7'レード 径φ56cm	10.24			
東京					
R	労務	58.43			
東京					
R1	特殊作業員(完全週休2日)	19.96			
東京					
R2	土木一般世話役(完全週休2日)	10.88			
東京					
R3	普通作業員(完全週休2日)	8.92			
東京					
Z	材料	26.52			
東京					
Z1	コンクリートカッター(ブレード) 径18インチ(450mm)	22.39			
東京					
Z2	ガソリン レキユーラスタント	2.81			
東京					

第 D-1 号代価表

舗装版切断(完全週休2日)
アスファルト舗装版, 15cm以下, ー, ー

施工パッケージ

積算単位 : m

区分	代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	補正式	備 考
	*** 単位当り ***				
	積算単価 (地区 : 009 米子09 (31 鳥取県) / 2025-05-15)				
	標準単価				

第 D-12 号代価表

整地(完全週休2日)
残土受入れ地での処理, ー, ー

施工パッケージ

積算単位 : m3

区分	代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	補正式	備 考
K 東京	機械	22.45			
K1 東京	バックホウ賃料【クレー型・排対型(1〜3次)】(完全週休2日) 山積0.8m3[平積0.6] 低騒音型含む(施P)	22.45			
R 東京	労務	52.33			
R1 東京	運転手(特殊)(完全週休2日)	52.33			
Z 東京	材料	25.22			
Z1 東京	軽油 小型ローラー(ﾊﾞｯﾄ給)	25.22			
	*** 単位当り ***				
	積算単価 (地区 : 009 米子09 (31 鳥取県) / 2025-05-15)				
	標準単価				

第 D-2 号代価表

舗装版直接掘削積込工 (パックホ) (完全週休2日)
舗装厚0cm超え10cm以下 パックホ 山積0.28m3[平積0.2m3]

施工代価表

100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役(完全週休2日)	0.42	人			
普通作業員(完全週休2日)	0.63	人			
パックホ運転(完全週休2日) 山積0.28m3[平積0.2m3]	3.35	h			
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m2			
【 単位当り 】	1	m2			

第 D-3 号代価表

パックホ掘削積込工(完全週休2日)
パックホ 山積0.28m3[平積0.2m3]

施工代価表

100 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役(完全週休2日)	1.9	人			
普通作業員(完全週休2日)	5	人			
パックホ運転(完全週休2日) 山積0.28m3[平積0.2m3]	11.1	h			
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m3			
【 単位当り 】	1	m3			

第 D-4 号代価表

管路埋戻・締固め工(機械埋戻・バックホ) (完全週休2日)
バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3] 山土 CBR≧12
：0.26

施工代価表

D-4 頁0003

100 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役(完全週休2日)	2.5	人			埋め戻し
普通作業員(完全週休2日)	3.8	人			埋め戻し
普通作業員(完全週休2日)	3	人			ｸﾝﾊﾟ 締固め
バックホ運転(完全週休2日) 山積0.28m3[平積0.2m3]	7.6	h			投入
ｸﾝﾊﾟ 運転(完全週休2日)	3	日			ｸﾝﾊﾟ 締固め
山土 CBR≧12	126	m3			ﾎﾟｽ率0.26
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m3			
【 単位当り 】	1	m3			

第 D-5 号代価表

管路埋戻・締固め工(機械埋戻・バックホ) (完全週休2日)
バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3] 発生土

施工代価表

D-5 頁0004

100 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役(完全週休2日)	2.5	人			埋め戻し
普通作業員(完全週休2日)	3.8	人			埋め戻し
普通作業員(完全週休2日)	3	人			ｸﾝﾊﾟ 締固め
バックホ運転(完全週休2日) 山積0.28m3[平積0.2m3]	7.6	h			投入
ｸﾝﾊﾟ 運転(完全週休2日)	3	日			ｸﾝﾊﾟ 締固め
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m3			
【 単位当り 】	1	m3			

発生土運搬工(完全週休2日)

ダンプトラック4t積 バックホウ山積0.28m3[平積0.20m3] DID区間
なし 2.0km以下 天付良好

D-6

頁0005

10 m3 当り

[illegible]

アスファルト塊・コンクリート塊(無筋)運搬工(完全週休2日)

ダンプトラック4t積 バックホウ山積0.28m3[平積0.20m3] DID区間
なし 10.0km以下 タイヤ良好

D-7

頁0006

10 m³ 当り

[illegible]

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員(完全週休2日)	0.78	人			0.78*1
再生クラッシャーラン RCC-40	25.4	m3			100*(20/100)*(1+0.27)
ﾀﾝﾊﾞ 運転(完全週休2日)	0.45	日			0.45*1
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m2			
【 単位当り 】	1	m2			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員(完全週休2日)	0.78	人			0.78*1
再生クラッシャーラン RCC-30	12.7	m3			100*(10/100)*(1+0.27)
ﾀﾝﾊﾞ 運転(完全週休2日)	0.45	日			0.45*1
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m2			
【 単位当り 】	1	m2			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員(完全週休2日)	0.78	人			0.78*1
粒度調整碎石 M-30	15.24	m3			100*(12/100)*(1+0.27)
タンバ 運転(完全週休2日)	0.45	日			0.45*1
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m2			
【 単位当り 】	1	m2			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役(完全週休2日)	0.4	人			1*100/250
特殊作業員(完全週休2日)	0.8	人			2*100/250
普通作業員(完全週休2日)	1.6	人			4*100/250
アスファルト合材 再生粗粒度アスコン(20)	7.544	t			100*(3/100)*2.35*(1+0.07)
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	126	L			
振動ロー運転(完全週休2日)	0.4	日			1*100/250
振動コンバクタ運転(完全週休2日)	0.8	日			2*100/250
砂散布費	1	式			(労+機)の3%
諸雑費	1	式			(労+機)の17%を上限とする

第 D-11 号代価表

舗装工(人力施工)(完全週休2日)
車道及び路肩 仕上り厚3cm プライムコート 砂散布あり アスファルト
ト合材(再生粗粒度アスコン(20))

施工代価表

100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【 合 計 】	100	m2			
【 単位当り 】	1	m2			

第 D-1 号代価表

舗装版切断(完全週休2日)
アスファルト舗装版, 15cm以下, ㄱ, ー

施工パッケージ

積算単位 : m

区分	代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	補正式	備 考
K	機械	15.05			
東京					
K1	コンクリートカッター[ベキウム式(超低騒音型)・湿式] 切削深20cm級7"レード 径φ56cm	10.24			
東京					
R	労務	58.43			
東京					
R1	特殊作業員(完全週休2日)	19.96			
東京					
R2	土木一般世話役(完全週休2日)	10.88			
東京					
R3	普通作業員(完全週休2日)	8.92			
東京					
Z	材料	26.52			
東京					
Z1	コンクリートカッター(ブレード) 径18インチ(450mm)	22.39			
東京					
Z2	ガソリン レキニョースタント	2.81			
東京					

第 D-1 号代価表

舗装版切断(完全週休2日)
アスファルト舗装版, 15cm以下, -, -

施工パッケージ

積算単位 : m

区分	代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	補正式	備 考
	*** 単位当り ***				
	積算単価 (地区 : 009 米子09 (31 鳥取県) / 2025-05-15)				
	標準単価				

第 D-12 号代価表

整地(完全週休2日)
残土受入れ地での処理, -, -

施工パッケージ

積算単位 : m3

区分	代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	補正式	備 考
K 東京	機械	22.45			
K1 東京	バックホウ賃料【クレー型・排対型(1~3次)】(完全週休2日) 山積0.8m3[平積0.6] 低騒音型含む(施P)	22.45			
R 東京	労務	52.33			
R1 東京	運転手(特殊)(完全週休2日)	52.33			
Z 東京	材料	25.22			
Z1 東京	軽油 小型ローラー(ﾊﾞｯﾄ給)	25.22			
	*** 単位当り ***				
	積算単価 (地区 : 009 米子09 (31 鳥取県) / 2025-05-15)				
	標準単価				

φ 100mm 配 水 管 布 設

数 量 計 算 書

φ 100mm配水管布設

No.1

[illegible]

[illegible]

平面図

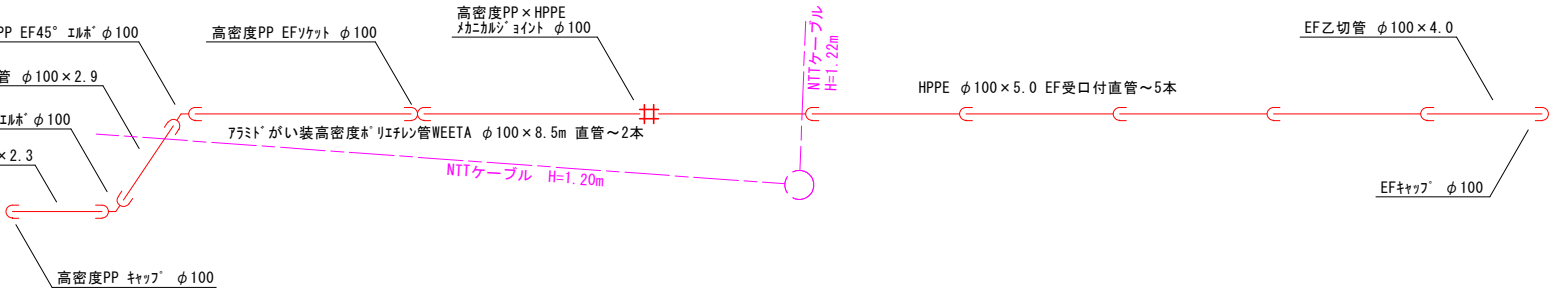
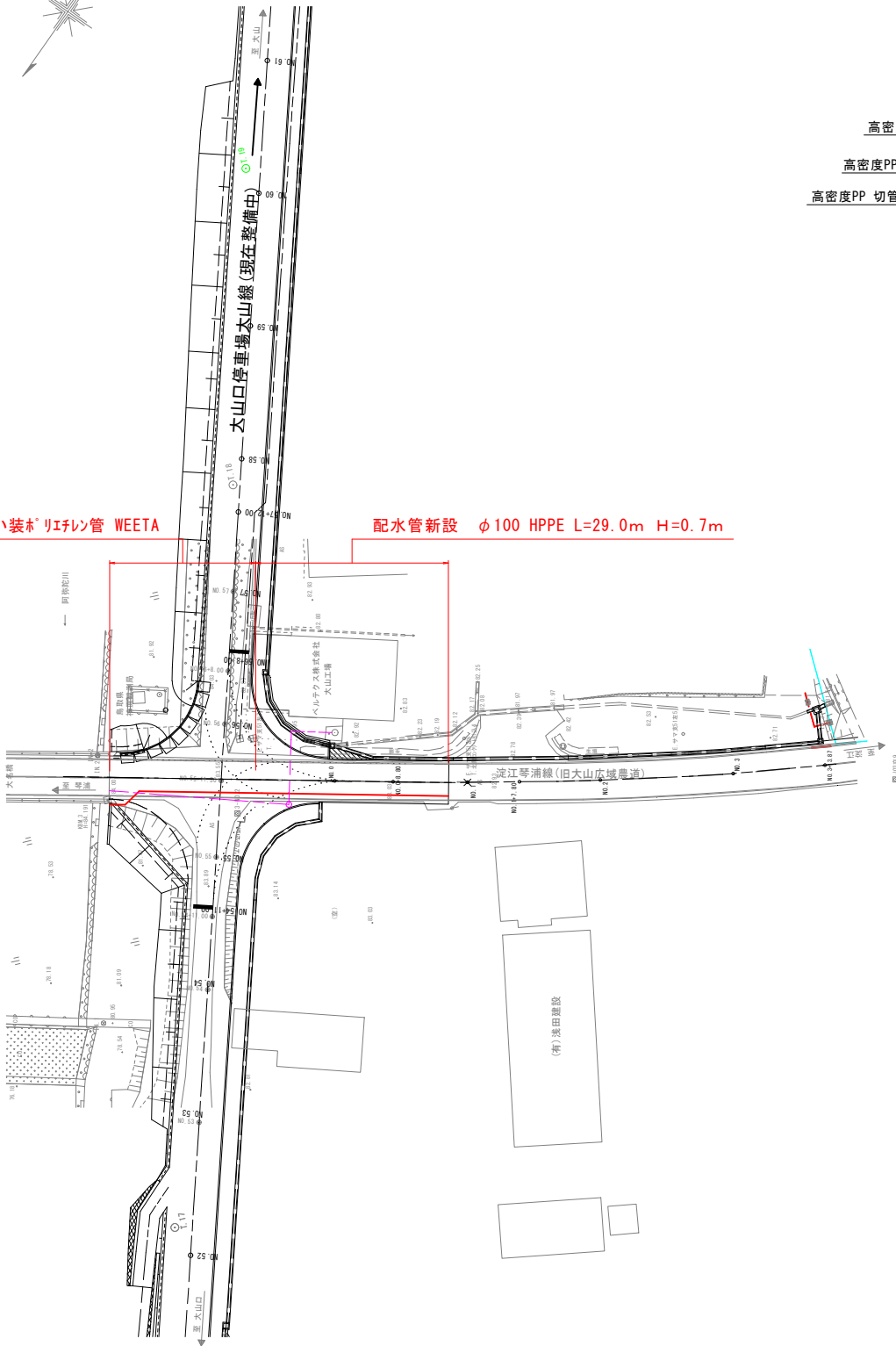
S=1:500

配管詳細図

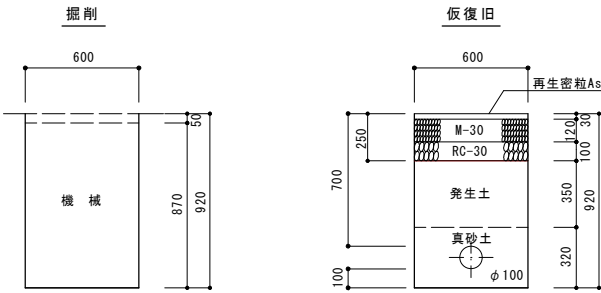
NO SCALE

配水管新設 φ100 7ラミットがい装ホリエレン管 WEETA
L=22.8m H=0.7m

配水管新設 φ100 HPPE L=29.0m H=0.7m



標準掘削断面図 φ100 H=0.7m A1:S=1/20 A3:S=1/40



舗装切断工	(m/m)	As、t=15cm以下	2.00
舗装取壊積込工	(m/m)	As、t=10cm以下	0.60
床掘工	(m/m)	機械	0.52
埋戻工	(m/m)	真砂土(機械)	0.18
		発生土(機械)	0.21
残土処理工	(m/m)	土砂	0.31
		As塊	0.03
産廃処分量	(m/m)	土砂	0.31
産廃処分量	(t/m)	As塊	0.07
下層路盤工	(m/m)	RC-30、t=10cm	0.60
下層路盤工	(m/m)	M-30、t=12cm	0.60
舗装仮復旧工	(m/m)	再生密粒As、t=3cm	0.60

※ 道路掘削前には、NTTとの立会を行い
ケーブルの位置を確認すること

位置	鳥取県 西伯郡 大山町
	大山町 神原
工事名	県道大山口停車場大山線改良 (平木、神原工区)に伴う水道管整備工事
図名	平面図・配管詳細図・ 標準掘削断面図
単位	縮尺 図示
1 葉 中 ノ 1	
令和 7 年度	